

2020（令和二）年度
学校法人ハリウッド美容専門学園
事業報告書

2021年6月28日

目 次

I	法人の概要	- 2 -
	1. 建学の精神	
	2. 学校法人の沿革	
	3. 設置する学校・学科	
	4. 学校入学定員・学生数等の状況	
	5. 役員・評議員・教職員の概要	
II	事業の概要	- 5 -
	1. 事業の概要	
	2. 主な事業の目的・計画及びその進捗状況	
	3. 施設等の状況	
III	財務の概要	- 8 -
	1. 貸借対照表の状況	
	2. 資金収支計算書の状況	
	3. 事業活動収支計算書の状況	

I 法人の概要

1. 建学の精神

1946年（昭和21年）にハリウッド美容室が開業し、広域のお客様にご愛好をいただきながら、多くの美容師見習いの方々が九州各地から集まる専門教育の場としても活動をしていた。1956年（昭和31年）には、美容の道を志す九州各地の若き美容師見習いを、美容技術を通して世の中に真心を伝播することができる人材となるよう育成するために、「真心をもってよしとする」を建学の精神とした、「ハリウッド美容専門学校」を設立。翌年の1957（昭和32年）に初代理事長・古賀次男先生、校長・古賀節子先生のもと、財団法人ハリウッド美容学園・私立各種学校ハリウッド美容専門学校として認定され開校し、通信課程を設置。1998（平成10年）に「専修学校ハリウッド美容専門学校」設置。1956年（昭和31年）以来、64年にわたり全国から集まる美容学生を育成。建学の精神「真心をもってよしとする」という考え方が根付いた卒業生が、全国各地・全世界各地で真心をお客様に伝えながら活躍している。

2. 学校法人の沿革

《法人の設立》

平成11年4月30日 学校法人の設立認可

《学校の設置》

平成10年4月1日 専修学校「ハリウッド美容専門学校」設置

《沿革》

昭和32年	財団法人ハリウッド美容学園・私立各種学校 「ハリウッド美容専門学校」開校・通信課程設置
昭和33年	夜間課程設置
昭和35年	斉美寮完成
昭和37年	校舎一部増築
平成9年	現在の本校舎完成
平成11年	一年制から二年制に移行
平成12年	第二校舎：ハリビタワー完成
平成14年	柳川ハリウッド美容専門学校へ改称 美容学科（ワーキングアカデミー）設置

平成 15 年	ハリウッドワールド美容専門学校へ改称
平成 18 年	エステ学科設置（専門課程）
平成 19 年	第三校舎：かがみ離宮完成 創立 50 周年
平成 22 年	ブライダル学科設置（専門課程）
平成 25 年	美容学科（エステ・ブライダル）設置
平成 27 年	美容学科（エステ専門・エステインターンシップ・ ブライダル専門・ブライダルインターンシップ）設置
平成 29 年	美容学科（トータルビューティアー）設置 エステ学科、ブライダル学科の廃止
平成 31 年	理容学科設置
令和 2 年	メイク学科設置（専門課程） 美容学科（グローバルビューティアーアカデミー）設置
令和 3 年	第四校舎：メイクアップ・ストーリーズ完成

3. 設置する学校・学科および学生数の状況

ハリウッドワールド美容専門学校

2021 年 5 月 1 日現在

学科名	修業 年限	入学 定員	総定員	1 年	2 年	合計
美容学科（美容専門課程）	2	320	640	252	235	536
美容学科（理容修得者課程）	1	(21)	(21)	(0)	(0)	(0)
理容学科（理容専門課程）	2	20	40	4	6	10
理容学科（美容修得者課程）	1	(5)	(5)	1	(0)	1
メイク学科（美容専門課程）	2	40	80	1	45	46

※（ ）は各学科定員の内数。

4. 役員・評議員・教職員の概要

役員概要

2021 年 5 月 1 日現在

区分	氏名	勤務先	勤務先役職
理事	古賀 英次	(学)ハリウッド美容専門学園	理事長
理事	古賀 郁	(学)ハリウッド美容専門学園	

2020（令和元）年度 事業報告書
 学校法人ハリウッド美容専門学園

理事	丸林 愛	ハリウッドワールド美容専門学校	校長
理事 (外部)	小柳 精子	美容室	代表
理事	北村 一須子	美容室	
理事 (外部)	丸形 美幸	美容室	代表
監事	片山 康則		学識経験者
監事	松永 クニ子		

	定数	現在数
理事	6	6
監事	2	2
役員 合計	8	8

評議員の概要

2021年5月1日現在

氏名	勤務先	勤務先役職
古賀 英次	(学)ハリウッド美容専門学園	理事長
古賀 郁	(学)ハリウッド美容専門学園	学園長
丸林 愛	(学)ハリウッド美容専門学園	校長
小柳 精子	りつ美容室	オーナー
北村 一須子	ハリウッド美容室	副店長
丸形 美幸	hair & make gluck	オーナー
大城 絹子	ガーネット美容室	オーナー
柴尾 由美子		
永島 秀實	ヘアーサロンジャーナル	九州支局長
関 隆昭	(有) サロン・ド・関	オーナー
野口 啓二	ヘアー&メイク ヴェルディ	オーナー
椛島 和喜		
古賀 大観	(学)ハリウッド美容専門学園	経営本部長

定数	現在数
----	-----

13	13
----	----

教職員の概要

2021年5月1日現在

専任教員	兼任教員	専任職員	兼任職員
22	103	8	

II 事業の概要

1. 事業の概要

- ① 建学の精神の必守と浸透
- ② 生徒一人一人の入学の目的達成
- ③ 募集 300 名達成
- ④ 国家試験全員合格
- ⑤ 就職全員合格
- ⑥ 職員一人一人の成長教育
- ⑦ 業務マニュアルの作成と確立
- ⑧ 姉妹校（韓国）交流

2. 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

① 建学の精神の必守と浸透

建学の精神「真心をもってよしとする」を必守していくために、教職員の朝礼での毎日の唱和を行い、学生の朝夕のホームルームにおいても全員唱和で意識付けを行っている。建学の精神に関して、卒業生の言葉からも「真心」というフレーズが多く出てくるように、学生ひとりひとりに浸透し徹底して価値共有がされている。

② 生徒一人一人の入学の目的達成

当校の目的は、建学の精神に則った人材像と学生個々人が目指す人生像（通称：入学の目的）を実現させていくことである。学生ひとりひとりの入学の目的をオリエンテーションで整理・共有し、目的達成に向かって学校・地域一体となり教育活動を行なっている。学生の学校生活においても「入学の目的」が卒業まで挫折するこ

となく進んでいく自身の明確な支えとなっている。

③ 募集 300 名達成

募集目標 300 名に対し、入学者 307 名で達成。

新設のメイク学科への入学者が大きく影響した。

各学科の定員充足達成へ多様な方法により説明機会と来校数の確保を図る。

④ 国家試験全員合格

2020 年度の国家試験においては、コロナ禍で授業運営が不規則な中に、長期日程での国家試験の実技科目と異例な状況ではあったが、高い合格率を収めている。

⑤ 就職全員合格

就職を希望する学生については全員就職を達成。当初、就職をしないと申告していた学生に対しても、キャリア指導を行い、就職へと繋げている。

⑥ 職員一人一人の成長教育

職員それぞれに責任者としての役割を持たせ、個々人が主体となって行動していけるように成長教育を行なっている。毎朝の朝礼と週二回の責任者会議で自身の「目的」に沿って進んでいるかを確認して、確実な成長を目指している。

⑦ 業務マニュアルの作成と確立

業務の棚卸・整理を行い、業務マニュアルの作成を行っている。広報部については学生募集のマニュアルを作成、教務部については危機管理の対応マニュアルなどの作成を実施している。

⑧ 姉妹校（韓国）交流

韓国 BBS グループとの 20 年以上の姉妹校提携により国際交流を行っている。例年、年二回ほどの来校交流を行なっているが、2020 年度はコロナウイルス感染拡大の影響で、相互往来が困難であったために交流ができなかった。一方で、韓国 BBS グループを通しての韓国からの留学生が近年毎年入学して

いるため、在學生は国際交流を行うことができる。

3. 施設等の状況

① 土地

所在地	用途	面積(m ²)	摘要
福岡県柳川市上町44番1	寮	563.74	
福岡県柳川市坂本町2番1	収益用地	1,271.65	
福岡県柳川市三橋町柳河字又四郎55番1	校地	16,885.57	
福岡県柳川市三橋町下百町209番1	収益用地	1,061.96	
福岡県柳川市新外町53番	寮	1,719.23	
福岡県柳川市宮永町43番4,10,11,12,21	研修用地	913.57	
福岡県柳川市佃町字本田31番1,2,3	寮	2,816	
大分県由布市湯布院町大字川上字宮ノ原1984-141	研修用地	677.74	
合計		25,944.55	

② 建物

所在地	用途	面積(m ²)	摘要
福岡県柳川市坂本町2番1	収益施設	155.60	
福岡県柳川市三橋町柳河字又四郎55番1	校舎	5,920.25	
大分県由布市湯布院町大字川上字宮ノ原1984-141	研修施設	247.26	
合計		6323.11	

III 財務の概要

1. 貸借対照表の状況

学校法人ハリウッド美容専門学園

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

資産の部	
科 目	期末残高
固定資産	1,523,459,682
有形固定資産	1,514,575,430
特定資産	0
その他の固定資産	8,884,252
流動資産	1,020,253,727
資産の部合計	2,543,713,409
負債の部	
科 目	期末残高
固定負債	13,197,600
流動負債	335,725,221
負債の部合計	348,922,821
純資産の部	
科 目	期末残高
基本金	2,278,328,868
繰越収支差額	△ 83,538,280
純資産の部合計	2,194,790,588
負債及び純資産の部合計	2,543,713,409

2020年度は、前年度に対して資産が109,737,540円増加し2,543,713,409円となり、負債が26,646,356円増加し348,922,821円となっている。資産の増加については、校地の拡大による土地や新校舎関連の学校設備の大型投資により有形固定資産が増加していることが起因している。負債の増加については、昼間課及び通信課の入学者数が増加したことにより、授業料前受金などが増加していることが起因している。

2. 資金収支計算書の状況

学校法人ハリウッド美容専門学園

資金収支計算書

令和 2年 4月 1日から
 令和 3年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目		金 額
収入の部	学生生徒等納付金収入	586,431,610
	手数料収入	15,239,780
	資産売却収入	16,570,400
	付随事業・収益事業収入	12,496,863
	受取利息・配当金収入	136,840
	雑収入	15,085,668
	補助金収入	0
	借入金等収入	21,500,077
	一般収入	30,401,600
	前受金収入	166,476,200
	その他の収入	167,060,625
	資金収入調整勘定	△ 249,037,481
	前年度繰越支払資金	818,775,268
	収入の部合計	1,601,137,450
支出の部	人件費支出	168,090,679
	教育研究経費支出	236,715,531
	管理経費支出	138,671,275
	借入金等返済支出	2,199,600
	施設関係支出	186,309,501
	設備関係支出	43,642,891
	その他の支出	68,412,689
	[予備費]	
	資金支出調整勘定	△ 33,562,382
	翌年度繰越支払資金	790,657,666
支出の部合計	1,601,137,450	

前年度繰越支払資金は 818,775,268 円に対して次年度繰越支払資金は 790,657,666 円と 33,562,382 円減少する結果となった。要因としては、土地購入による施設関係支出の増加や、新校舎等の授業環境の大型投資による設備関係支出の増加など、将来への投資によるもの。

3. 事業活動収支計算書の状況

学校法人ハリウッド美容専門学園

事業活動収支計算書

令和 2年 4月 1日から
 令和 3年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目		期末残高	
教育活動収支	事業活動収入	学生生徒納付金	586,431,610
		手数料	15,239,780
		雑収入	15,085,668
		経常費等補助金	30,401,600
		一般収入	21,500,077
		教育活動収入計	668,658,735
	事業活動支出	人件費	168,090,679
		教育研究費	285,196,674
		管理経費	143,435,556
		教育活動支出計	596,722,909
教育活動収支差額計		71,935,826	
教育活動外収支	事業活動収入	受取利息・配当金	136,840
		その他の教育活動外収入	12,496,863
		教育活動外収入計	12,633,703
	事業活動支出	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額		12,633,703	
経常収支差額		84,569,529	
特別収支	事業活動収入	資産売却差額	△ 1,478,345
		その他の特別収入	0
		特別収入計	△ 1,478,345
	事業活動支出	資産処分差額	0
		その他の特別支出	0
		特別支出計	0
特別収支差額		△ 1,478,345	
基本金組入前当年度収支差額		83,091,184	
基本金組入額合計		△ 232,571,972	
当年度収支差額		△ 149,480,788	
前年度繰越収支差額		58,026,232	
基本金取崩額		7,916,276	
翌年度繰越収支差額		△ 83,538,280	
(参考)			
事業活動収入計		679,814,093	
事業活動支出計		596,722,909	

教育活動収入の合計は 668,658,735 円、教育活動支出の合計は 596,722,909 円となり、71,935,826 円の減少となった。減少の要因としては、一時的な入学者の減少が影響している。事業活動収入の合計は 679,814,093 円、事業活動支出の合計は 596,722,909 円となり、翌年度繰越収支差額は 83,091,184 円の増加となっている。